

# オルガノ株式会社

## 2023年3月期 上期決算説明会資料

---

(証券コード : 6368)

2022年11月10日

# 目次

---

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期見込

<ご参考>

3. TOPICS
4. 会社概要

# 目次

---

1. 2023年3月期 上期実績

2. 2023年3月期 通期見込

<ご参考>

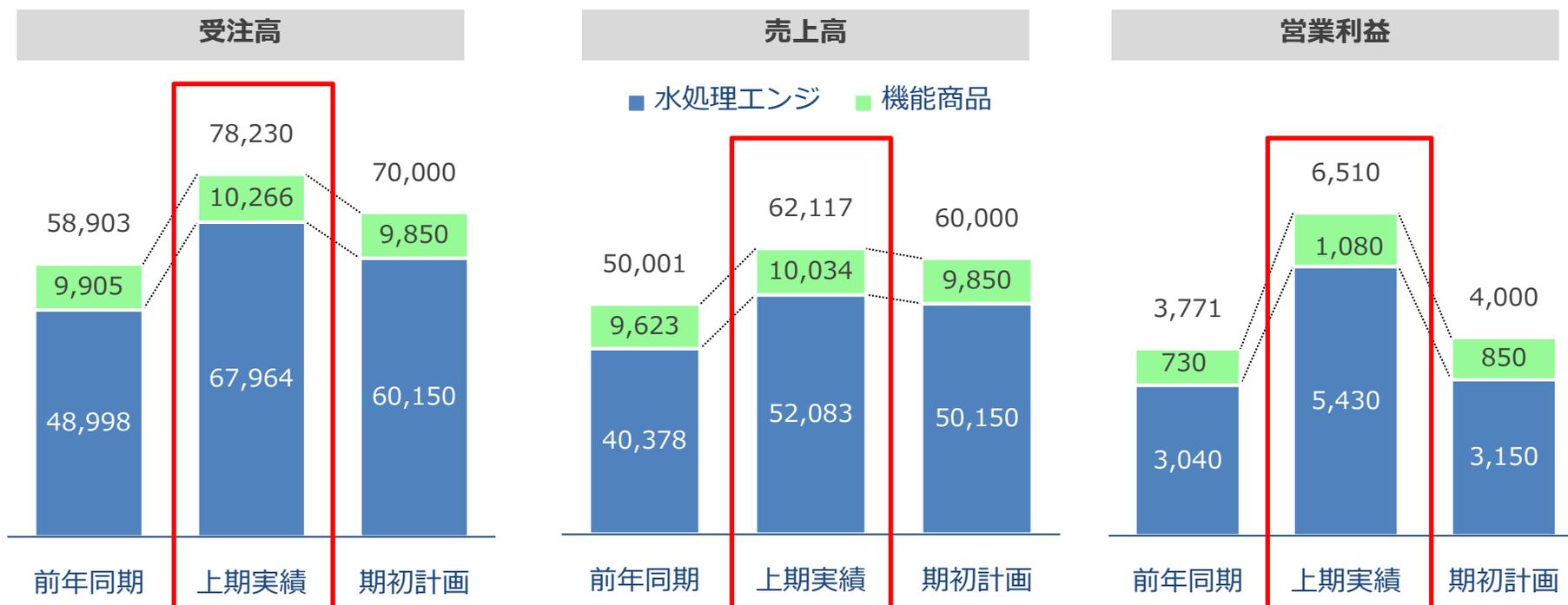
3. TOPICS

4. 会社概要

# 23年3月期上期実績：概況

半導体を中心とした電子産業分野の活発な設備投資が続き  
国内外で業績が伸長。受注・売上・営業利益とも前年同期  
・ 期初計画を上回り、第2四半期での過去最高実績を達成。

(単位：百万円)



## 23年3月期上期実績：概況

<b>電子産業 分野</b>	国内・台湾で大型投資が続いたことに加え、中国やマレーシアでも大型の半導体プロジェクトを受注。売上は大型案件の工事進捗により拡大。円安による換算差額拡大も寄与。
<b>一般産業 分野</b>	国内で大型の設備投資が回復の動き、受注は好調に推移。売上は原材料調達や工事等の遅れによって納期が下期以降に先送りとなるなど、期ズレの発生が影響。
<b>電力・上下水 分野</b>	受注案件の工事進捗に加え、国内のソリューション案件などを中心に堅調に推移。
<b>機能商品 事業</b>	水処理薬品は電子産業分野など中心に好調。標準型機器・フィルタも医療・研究機関向けの小型純水装置などが拡大。食品は値上げによる価格転嫁などが順調に進む。

## 23年3月期上期実績：損益計算書

(単位：百万円)	21.9 実績	22.9 実績	期初計画	前期比 (%)	計画比 (%)
受注高	58,903	78,230	70,000	+32.8%	+11.8%
売上高	50,001	62,117	60,000	+24.2%	+3.5%
売上総利益 (%)	12,404 24.8%	16,108 25.9%	13,000 21.7%	+29.9%	+23.9%
販管費	8,632	9,597	9,000	+11.2%	+6.6%
営業利益 (%)	3,771 7.5%	6,510 10.5%	4,000 6.7%	+72.6%	+62.8%
経常利益	4,193	7,451	4,000	+77.7%	+86.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,696	5,027	2,800	+86.4%	+79.6%

# 23年3月期上期実績：受注高の状況（地域別）

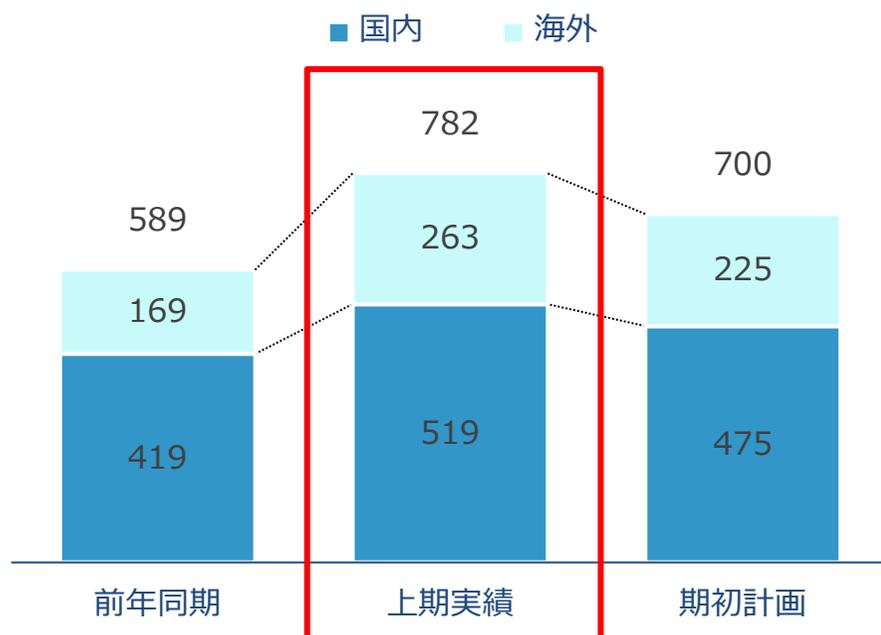
## 上期受注は電子産業中心に国内外で拡大、過去最高を達成

国内：大型の半導体プロジェクト、ウェハー関連の投資が大きく寄与

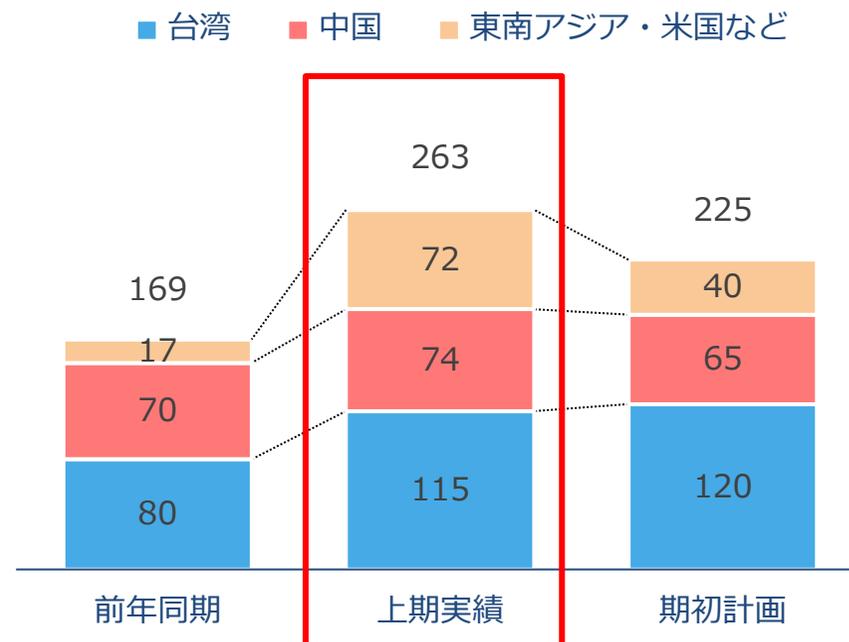
海外：台湾は高水準続く、中国、マレーシアで半導体投資が拡大

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



# 23年3月期上期実績：売上高の状況（地域別）

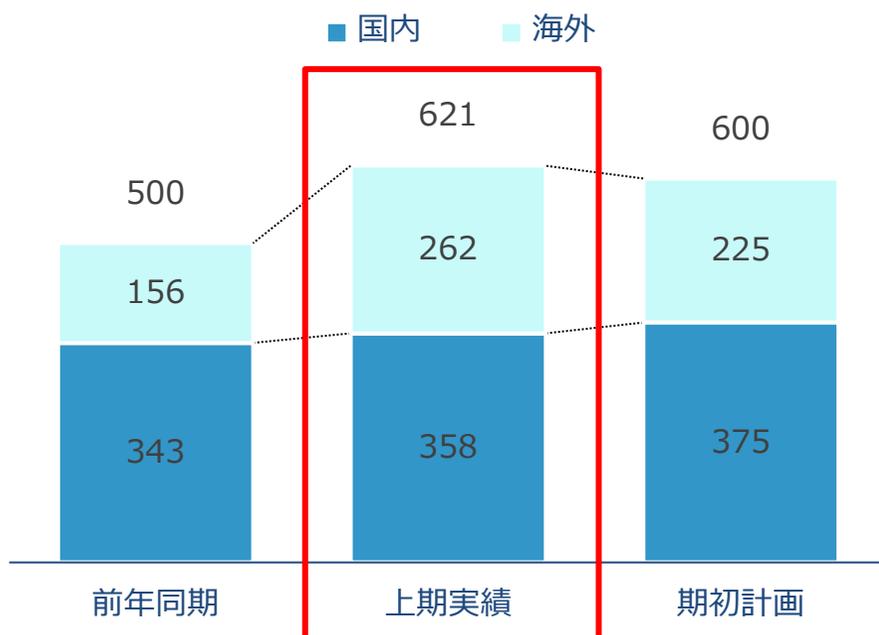
## 上期売上も前年同期・期初計画を上回り過去最高を達成

国内：電子産業分野中心に大型案件の工事が進捗し売上拡大

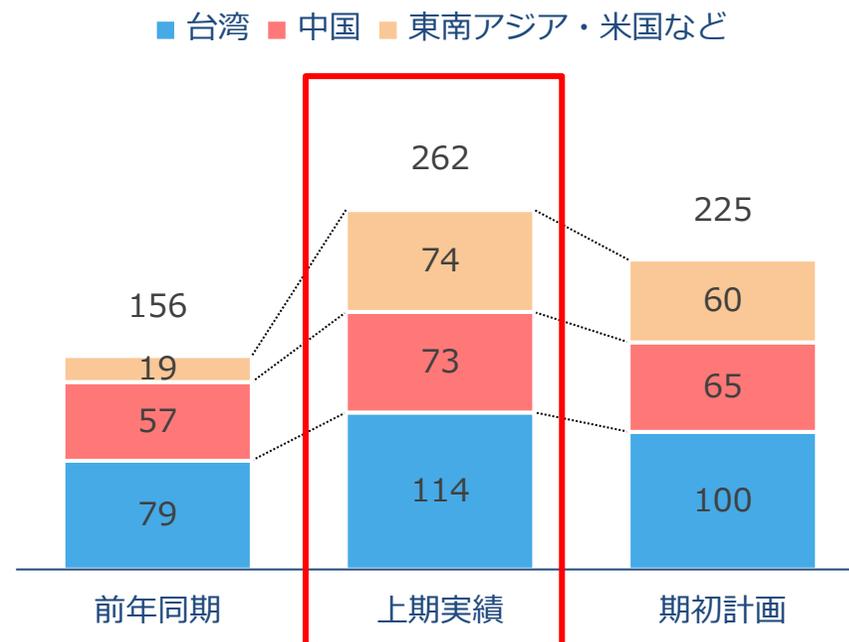
海外：台湾・中国に加え、前年受注した米国案件の工事進捗も寄与

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



# 23年3月期上期実績：水処理エンジ事業売上高

## 水処理エンジ事業は電子産業拡大で前年同期・期初計画を上回る

電子産業：大型案件の工事進捗に加え、ソリューションも好調

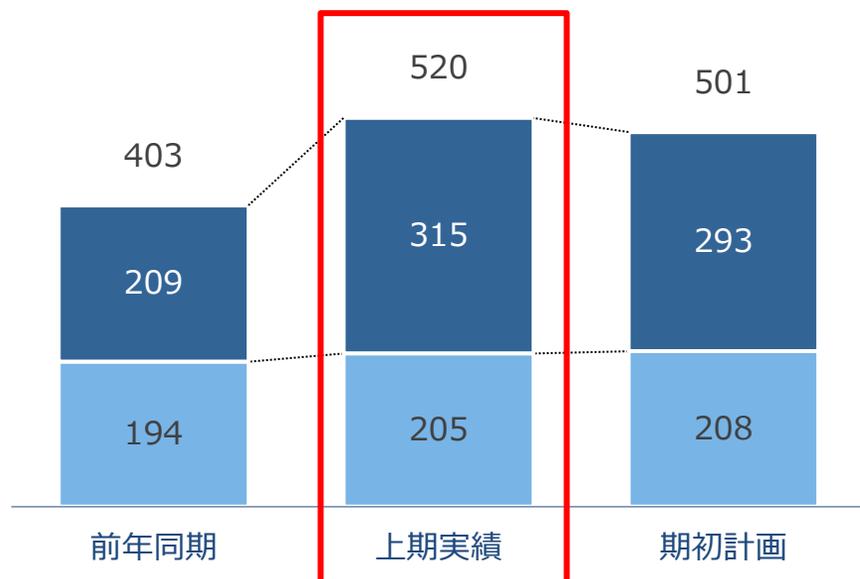
一般産業：材料調達の遅れ等が影響、売上が下期以降に期ズレ

電力・上下水：国内のソリューションなど中心に堅調な推移

(単位：億円)

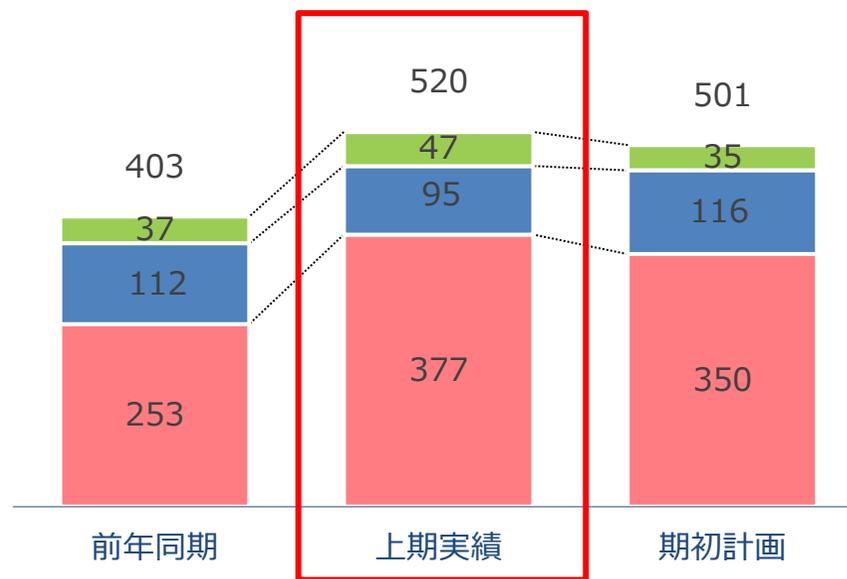
### 水処理エンジ売上高：プラント・ソリューション

■ソリューション ■プラント



### 水処理エンジ売上高：市場分野別

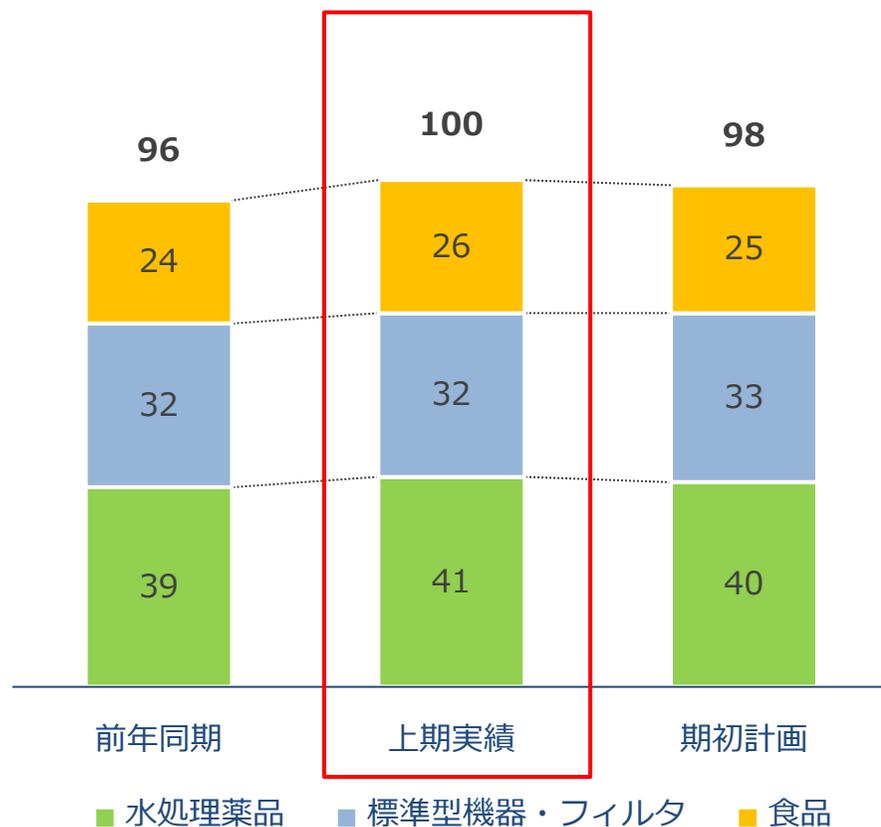
■電子産業 ■一般産業 ■電力・上下水



# 23年3月期上期実績：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



## ■ 水処理薬品

電子産業分野向けの排水処理剤やRO膜処理剤などの販売が好調に推移。

## ■ 標準型水処理機器・フィルタ

医療・研究機関向けの小型純水装置の販売が好調。前年上市したピューリックμ（ミュー）の販売も伸長。自販機やコーヒーマシンなど向けの浄水フィルタも販売好調。

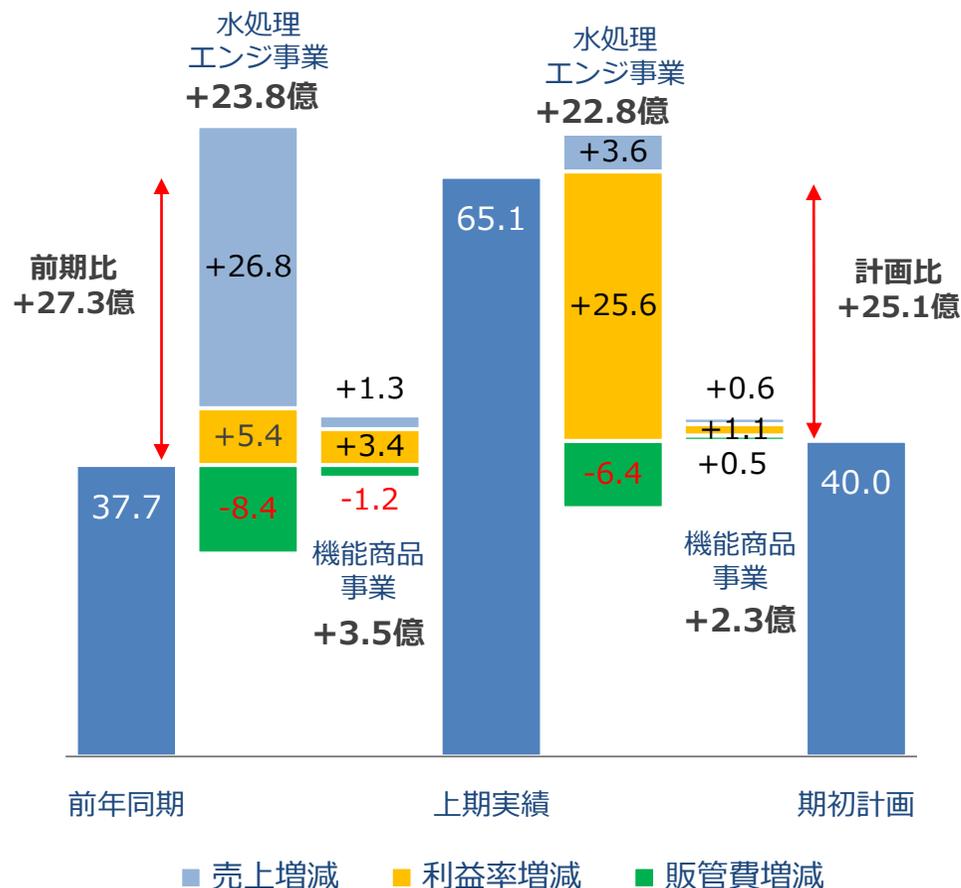
## ■ 食品

原材料価格の高騰続くも、値上げ交渉により価格転嫁は比較的順調に進む。販売もコロナ禍での減少から回復傾向で推移。

# 23年3月期上期実績：営業利益分析

(単位：億円)

## 営業利益分析



## ■ 前期比

- ・ 水処理エンジニア事業の電子産業分野売上拡大による増収効果が大きく影響。
- ・ 機能商品事業は増収効果に加え、価格転嫁やコストダウンなどの利益改善効果も影響。
- ・ 販管費は人件費を中心に増加。

## ■ 計画比

- ・ 原材料価格の上昇リスクを期初計画に織り込むも価格転嫁が順調に推移。下期に見込んでいたプロジェクトのコスト改善効果も前倒しで実現。
- ・ 機能商品事業も値上げやコストダウンなどで利益率改善。
- ・ 販管費は海外現法の換算差額なども影響。

# 目次

---

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期見込

<ご参考>

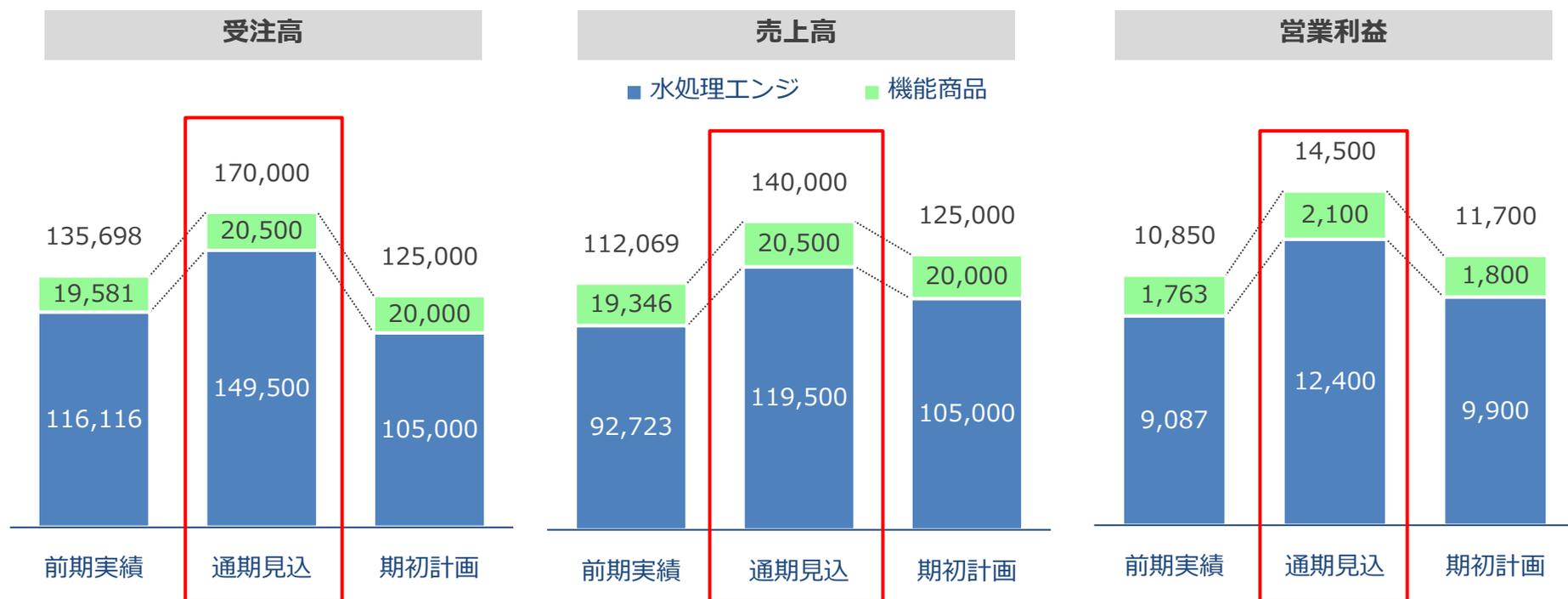
3. TOPICS
4. 会社概要

# 23年3月期通期見込：概況

## 受注・売上・利益とも前年に続き過去最高の更新を見込む

国内・海外で半導体中心に電子産業分野の設備投資が想定以上に活発  
一般産業分野の投資回復や機能商品事業の伸長による受注・売上拡大も寄与

(単位：百万円)



# 23年3月期通期見込：見込の前提

## 電子産業 分野

### 【短期的見通し】

メモリ市況の悪化など、一部では生産・投資縮小の動きが見られるも、国内外で高水準の設備投資が続く見通し。国内ではウェハーやパワー半導体、海外では台湾での最先端半導体投資に加え、中国でもメモリも含めた半導体投資が活発に推移。マレーシアでも欧米系メーカーを中心にレガシー半導体などへの大型投資が続く見通し。

### 【中長期的見通し】

地政学リスク・経済安全保障の観点から、各国・地域で半導体サプライチェーンを再構築する動きが活発化。中長期的には需要拡大による半導体市場の成長も見込まれており、当社としては日本を含むアジア地域でのサプライチェーン強化に加え、北米での体制拡充を進める。

## 23年3月期通期見込：見込の前提

<b>一般産業 分野</b>	食品や電子産業の周辺分野などで大型設備投資の動きが活発化、医薬分野も堅調に推移しており、売上はコロナ前の水準まで回復する見込み。
<b>電力・上下水 分野</b>	電力・上下水分野は引続き堅調な動きを見込む。原発の再稼働に向けたソリューション需要の拡大も期待。
<b>機能商品 事業</b>	各分野とも順調な推移を期待。水処理薬品や標準型機器・フィルタ分野では台湾・中国など海外での販売拡大に向けた取組みを強化。

## 23年3月期通期見込：損益計算書

(単位：百万円)	22.3 実績	23.3 見込	23.3 期初計画	前期比 (%)	計画比 (%)
受注高	135,698	170,000	125,000	+25.3%	+36.0%
売上高	112,069	140,000	125,000	+24.9%	+12.0%
売上総利益 (%)	28,512 25.4%	34,000 24.3%	30,700 24.6%	+19.2%	+10.7%
販管費	17,662	19,500	19,000	+10.4%	+2.6%
営業利益 (%)	10,850 9.7%	14,500 10.4%	11,700 9.4%	+33.6%	+23.9%
経常利益	11,545	15,200	11,700	+31.6%	+29.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,210	11,500	8,200	+24.9%	+40.2%
ROE(%)	12.9%	14.3%	10.6%	—	—

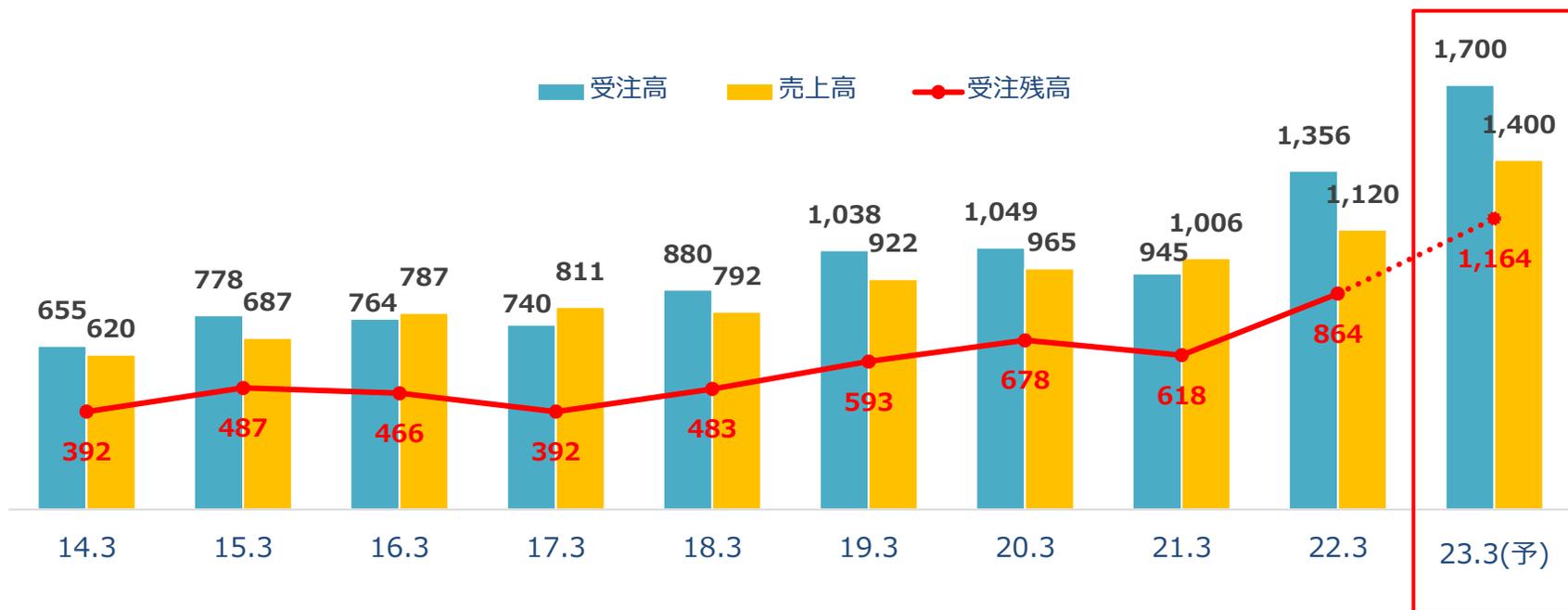
# 23年3月期通期見込：受注・売上・受注残高の推移

## 国内外の大型投資拡大で受注残高は高水準で推移

売上の先行指標となる受注残高は、23年3月期末で1,000億円を超える見通し  
半導体など1件当たりの投資規模の大型化や、原材料・工事などの長納期化も影響

(単位：億円)

受注高・売上高・受注残高の推移



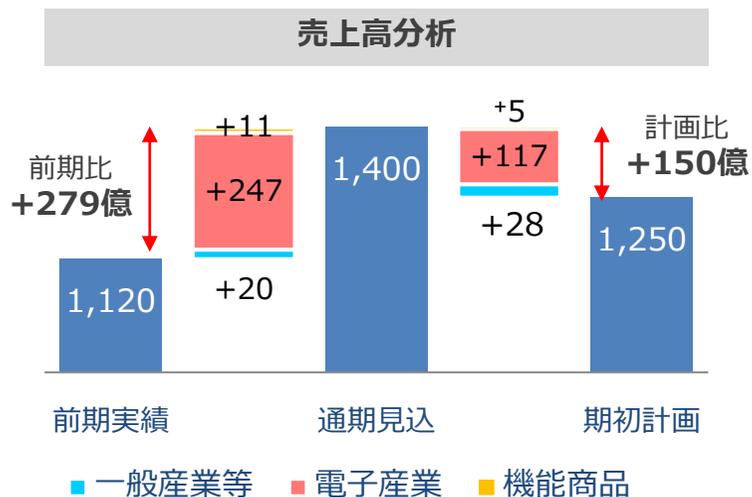
# 23年3月期通期見込：受注高・売上高分析

(単位：億円)



## 【受注高】

電子産業・一般産業分野が前期実績・期初計画を上回る見通しで、過去最高となる1,700億円を見込む。  
 その他電力・上下水分野や機能商品事業も微増を想定。

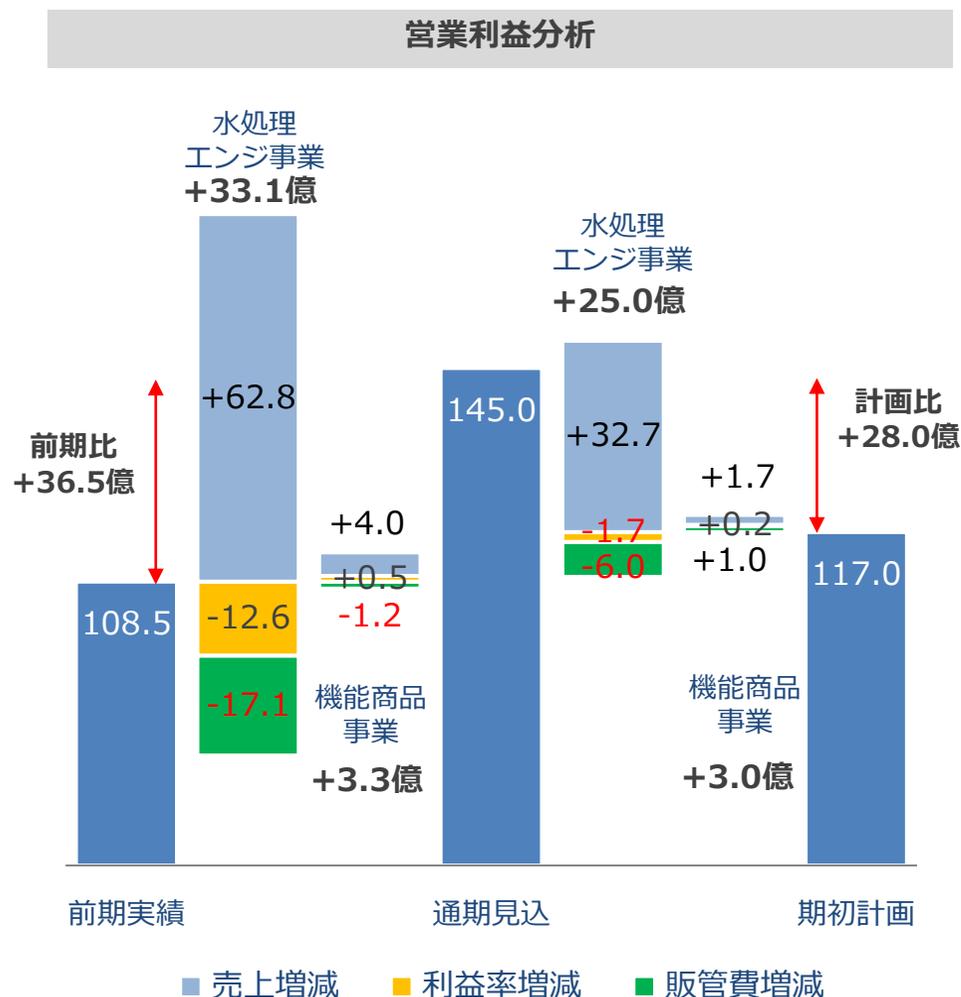


## 【売上高】

電子産業・一般産業分野が前期実績・期初計画を上回る見通しで、過去最高となる1,400億円を見込む。  
 機能商品事業は各分野とも好調で前期比+11億円の伸長を想定。

# 23年3月期通期見込：営業利益分析

(単位：億円)



## ■ 前期比

- ・電子産業分野を中心とした増収効果で利益増プラントの売上構成比が拡大、利益率にも影響する見通し。
- ・機能商品事業は各分野の増収効果により利益増加を見込む。
- ・販管費は人件費中心の増加想定。

## ■ 計画比

- ・電子産業分野を中心とした売上拡大の効果を見込む。利益率は期初計画並を想定。
- ・機能商品事業は各分野の増収効果により利益増加を見込む。
- ・販管費は円安なども影響し期初の想定を上回る見通し。

# 23年3月期通期見込：地域別受注高

## 電子産業分野の大型投資を中心に国内外で受注拡大を見込む

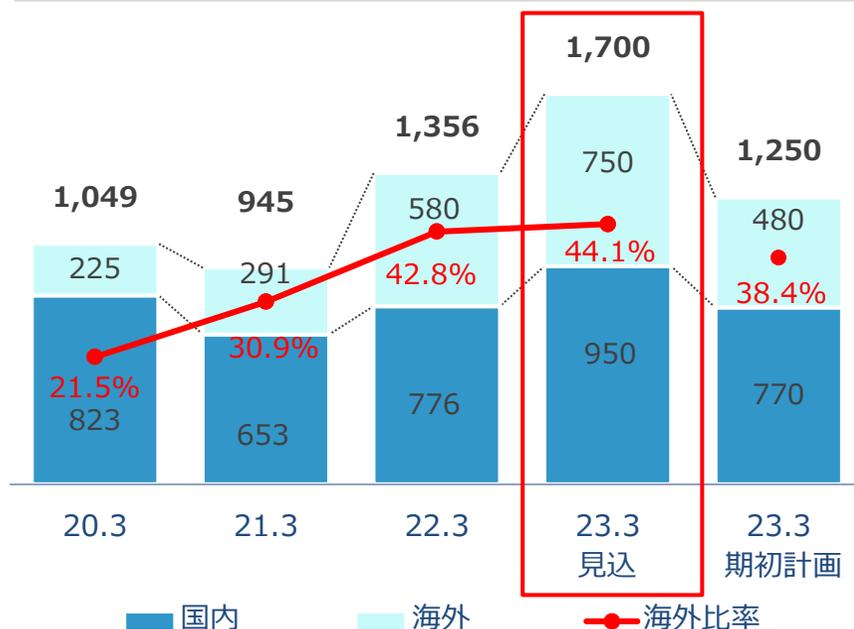
国内：電子産業分野に加え一般産業分野でも大型投資が拡大する見通し

海外：台湾・中国・マレーシアで大型の半導体投資が活発に推移、

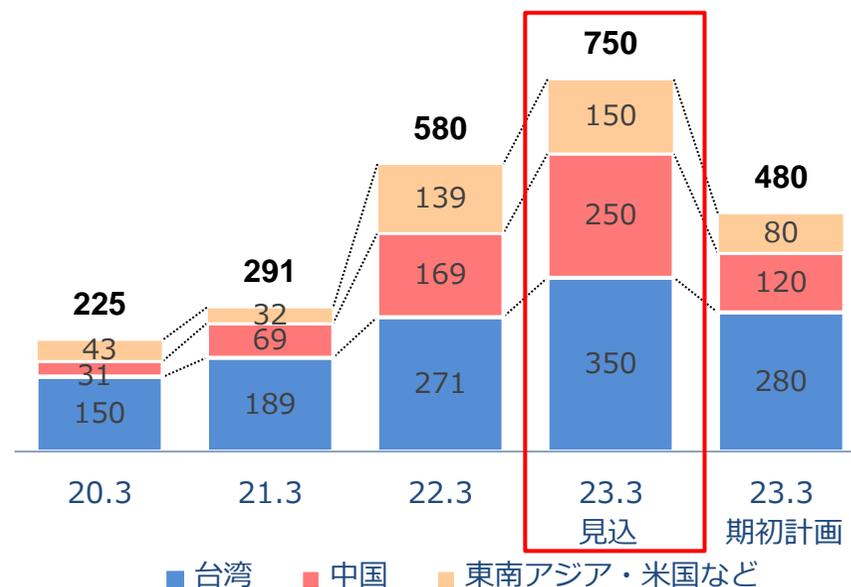
期初想定よりも円安が進行、為替換算差額の拡大も影響

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



# 23年3月期通期見込：地域別売上高

## 受注した大型案件の工事進捗により国内外で売上拡大を見込む

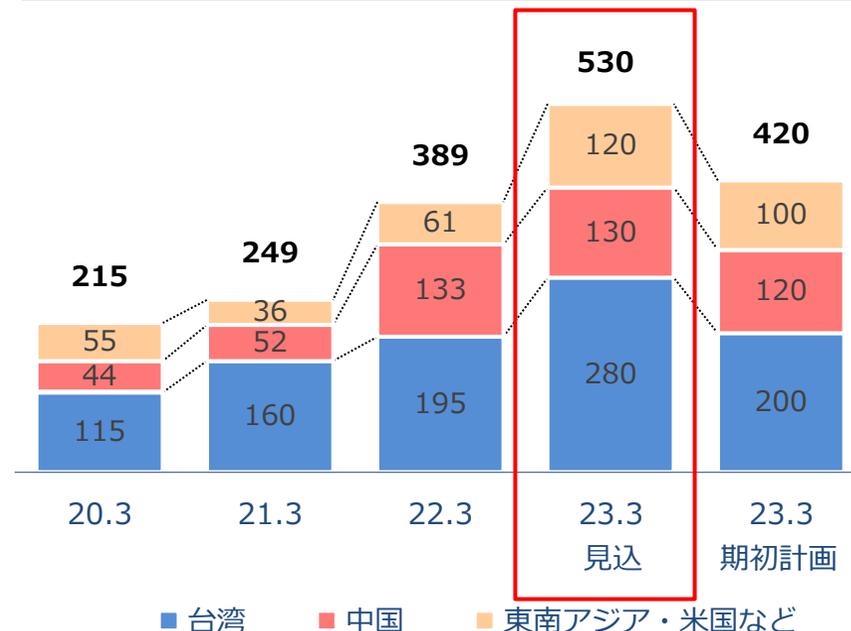
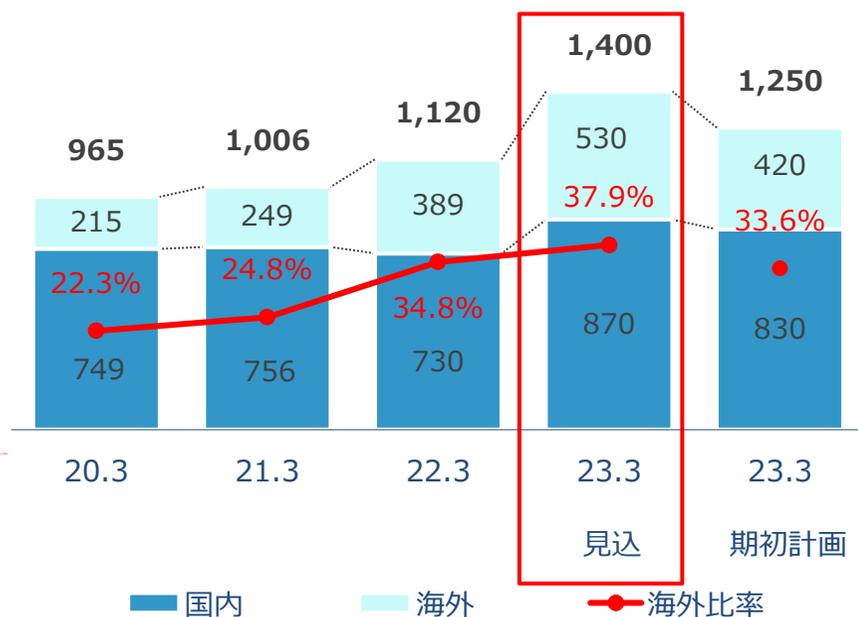
国内：受注好調の電子産業・一般産業分野で売上が増加する見通し

海外：台湾・中国に続き前年受注の米国案件やマレーシアでも売上拡大、  
期初想定よりも円安が進行、為替換算差額の拡大も影響

(単位：億円)

売上高：国内・海外

売上高：海外地域別



# 23年3月期通期見込：水処理エンジニア事業売上高

## 電子産業・一般産業分野を中心とした売上の拡大を見込む

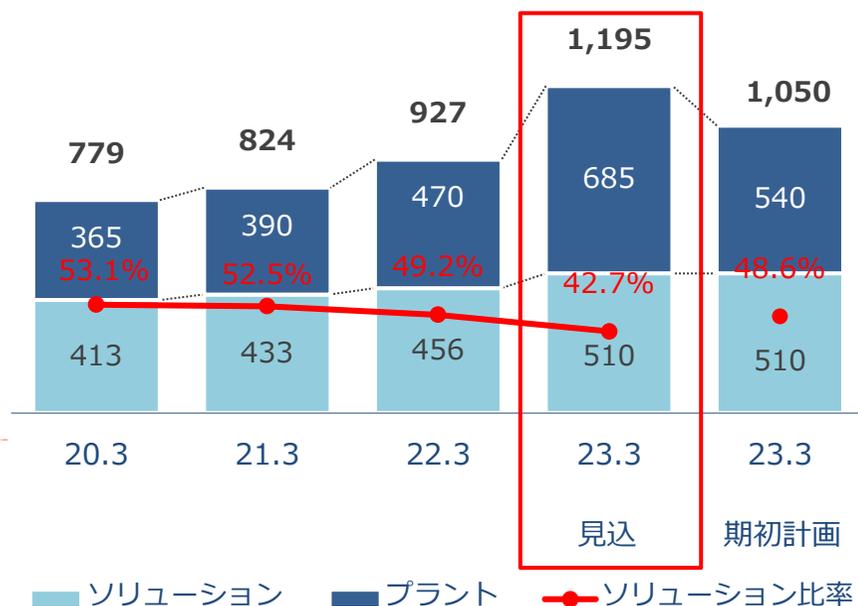
電子産業：国内外で大型プロジェクトの工事進捗し売上拡大

一般産業：大型の設備投資回復でプラント売上増、ソリューションも好調

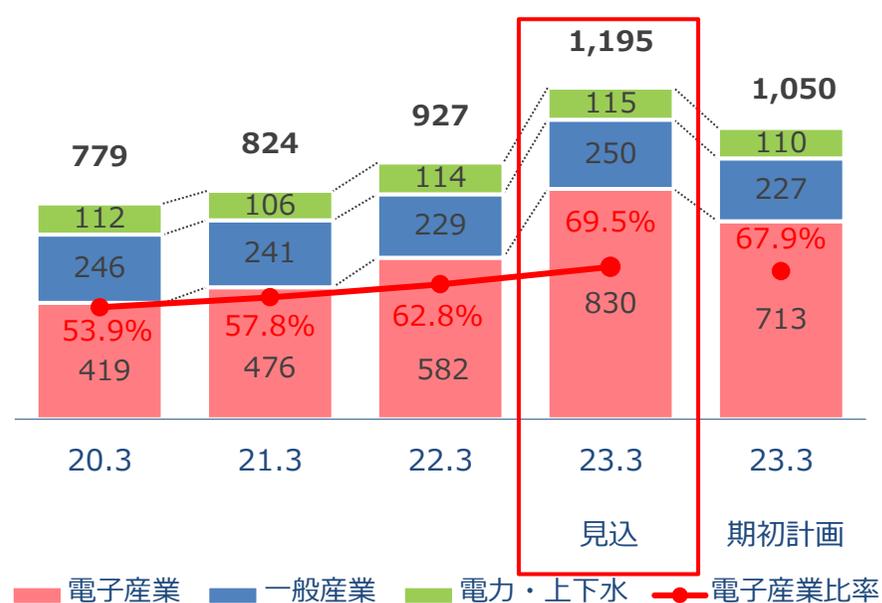
電力・上下水：国内ソリューション中心に堅調に推移

(単位：億円)

水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニア売上高：市場分野別



# 23年3月期通期見込：電子産業分野受注高

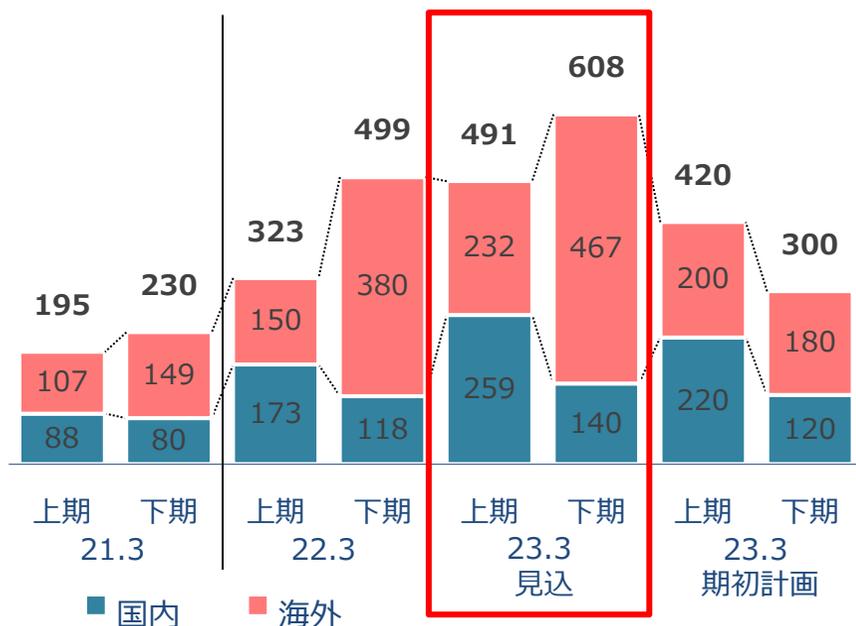
## 半導体中心に国内外で高水準の投資を見込む

国内：期初計画の大型案件は想定通り受注、ソリューションも好調

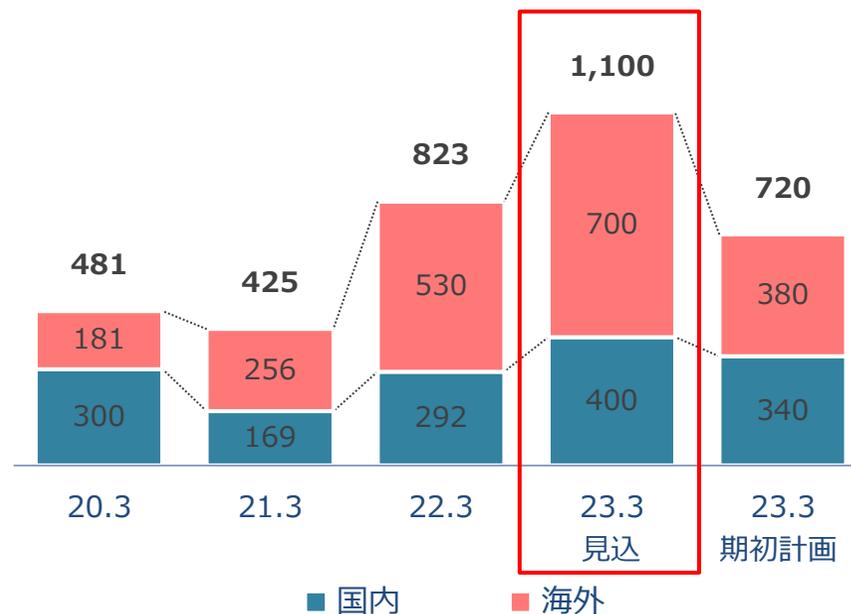
海外：高水準の投資続く台湾に加え、中国・マレーシアでも大型の半導体投資が活発化、複数プロジェクトの受注を見込む

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



# 23年3月期通期見込：電子産業分野売上高

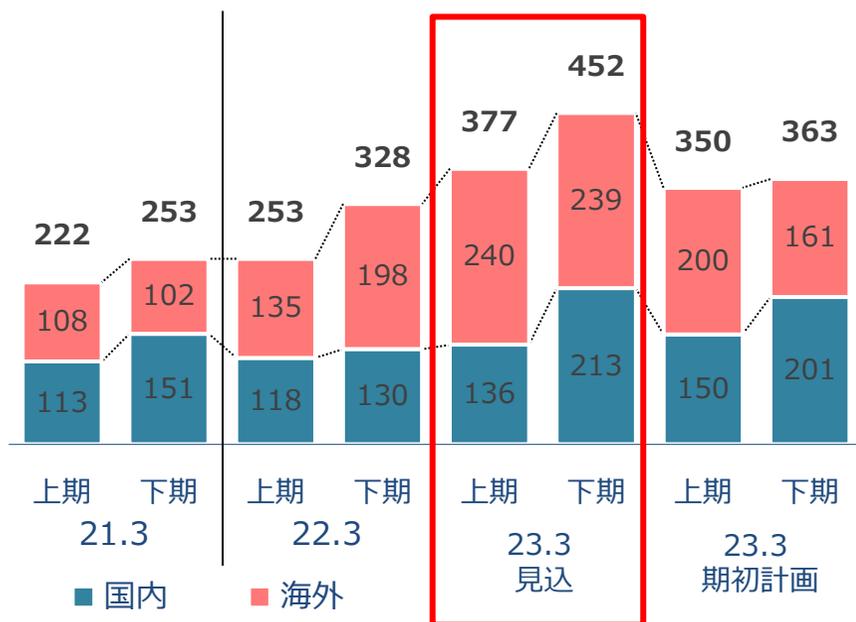
## 国内外で大型案件の工事進捗による売上拡大を見込む

国内：大型の半導体プロジェクトなどの工事進捗で売上拡大を見込む

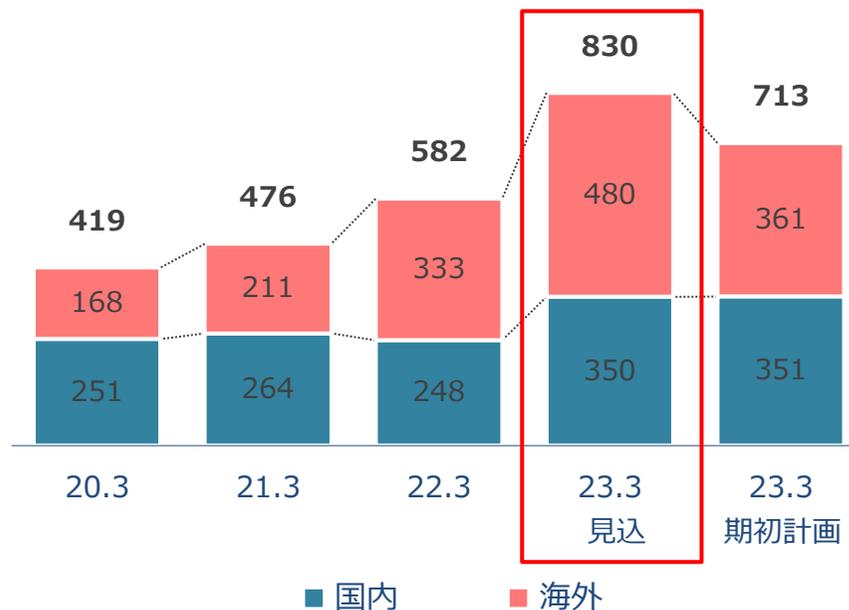
海外：台湾・中国・米国など大型案件の工事進捗による売上増を想定

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）



電子産業分野：売上高



# 23年3月期通期見込：機能商品事業売上高

(単位：億円)



## ■ 水処理薬品

電子産業分野を中心に排水処理剤やRO膜処理剤、冷却水処理剤などの売上拡大を見込む。

## ■ 標準型水処理機器・フィルタ

研究・医療機関などに向けた小型純水装置の販売増や浄水フィルタの売上拡大を見込む。

## ■ 食品

各種食品添加剤などの売上拡大を想定値上げによる価格転嫁も進む見通し。

# 23年3月期通期計画：キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

## キャッシュ・フロー推移



■ 営業CF   
 ■ 投資CF   
 ■ 財務CF   
 ● EBITDA  
 (営業利益 + 減価償却費)

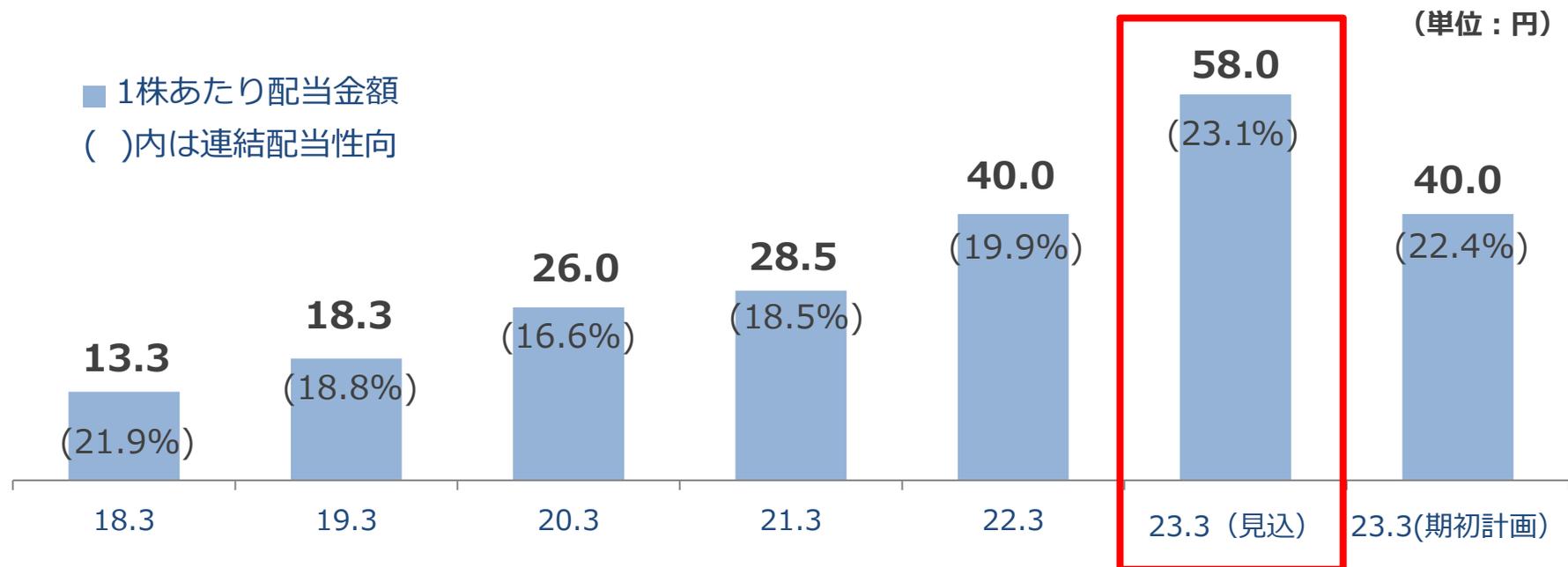
- 当社キャッシュ・フローは業績の動向に加え、大型プロジェクトの工事進捗・代金の回収状況が増減に大きく影響。

### 【2023年3月期の主な動き】

- 営業キャッシュ・フローには設備保有型ソリューション案件への投資金額を含む。25年3月期までに合計250億円程度の段階的な投資を想定。研究開発や海外体制、デジタル関連の経費拡大も想定。
- 投資キャッシュ・フローにはつくば工場強化やデジタル・研究開発投資の拡大を計画。
- 財務キャッシュ・フローは設備保有型案件への投資に向けた借入金の拡大を想定。配当総額も継続的に拡大。23年3月期は前期比52%増の23億円強を見込む。

# 配当金の推移

- 2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を実施。
- 23.3期は上期・通期とも上方修正、年間配当金は58円に増額。
- 25.3期を最終年度とする中期計画では、成長投資と増配の継続を両立し早期に配当性向を25%以上の水準に引き上げることを目指す。



※配当金額は2022年10月1日付の株式分割後ベースで記載

## 主な指標

	22年3月期 実績	23年3月期 見込	23年3月期 期初計画
設備投資額 (百万円)	3,387	1,800	2,000
技術研究費 (百万円)	2,146	2,700	2,700
減価償却費 (百万円)	1,332	1,600	1,500
有利子負債 (百万円)	15,628	28,000	30,000
従業員数 (人)	2,476	2,500	2,500

# 目次

---

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期見込

<ご参考>

3. TOPICS

4. 会社概要

# TOPICS : 成長エリア向けの取り組み

## 開発センター 新実験棟が稼働開始



- 非水系分離精製技術の開発、次世代超純水システムの研究開発を始動。
- 半導体開発・製造における最先端技術開発を目的としたリサーチ活動も開始。

# TOPICS : 機能商品事業

## デジタルプロモーションへの取り組み



# LAB SALON

by ORGANO CORPORATION



- ラボラトリー分野の研究者向けウェブサイトを開設。  
<https://puric.organo.co.jp/>
- 水や分析に関するお役立ち情報、当社商品やその導入事例などを掲載。
- オンライン展示会も開催中。
- BtoBのECサイトを開設予定。

# TOPICS : サステナビリティ

## 重要課題（マテリアリティ）を特定

- 経営理念、長期経営ビジョンなどからキーワードを抽出、重要度や妥当性の評価の下、以下をマテリアリティとして特定

### 経営理念

オルガノは  
水で培った先端技術を駆使して  
未来をつくる産業と社会基盤の発展に  
貢献するパートナー企業としてあり続けます

### 長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に事業領域と展開地域を拡大し、産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶えず提供します。  
昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える人をつくり、一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を構築します。

## 重要課題（マテリアリティ）

### 継続的な事業成長の実現

- ① 持続可能な地球環境への貢献
  - ・水資源問題への対応
  - ・気候変動への対応
  - ・環境配慮製品・サービスの拡充
  - ・3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進
  - ・生物多様性の保全
- ② 技術力を活かした高付加価値製品・サービスの提供

### 事業基盤の構築

- ③ ガバナンス強化とコンプライアンスの徹底
  - ・労働安全衛生の推進
  - ・人権の尊重
  - ・コンプライアンスの強化
  - ・リスクマネジメントの強化
- ④ 多様な人材が活躍し働きがいのある職場づくり
- ⑤ サプライチェーンマネジメントの強化

# TOPICS : 環境負荷低減

## 顧客の省エネ・省力化・省人化をサポート



2016年度  
省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞  
**「水熱利用システム」**

■ヒートポンプ技術を活用し、工場等で使用される水の熱をエネルギーとして利用。  
**50%以上の消費電力・CO2削減**を実現。



2020年度  
省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞  
**冷却水処理剤  
「オルブレイドシリーズ」**

■工場等で使用される冷凍機の熱交換効率指標に着目、冷却水システムの**省力化・エネルギー使用量削減**を実現。



2021年度  
省エネ大賞 審査委員会特別賞  
**RO膜水処理設備 省エネ  
「オルスマートRO」**

■RO膜用水処理剤+自動注入制御+遠隔管理システムで**省力化・省人化・エネルギー使用量削減**を実現。



HVAC & R アワード2022  
ソリューションサービス部門  
**冷却水省エネサービス  
「オルスマートCW」**

■オルブレイドシリーズ+自動注入制御+遠隔管理システムで**省力化・省人化・エネルギー使用量削減**を実現。

# 目次

---

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期見込

## <ご参考>

3. TOPICS
4. 会社概要

# 会社概要

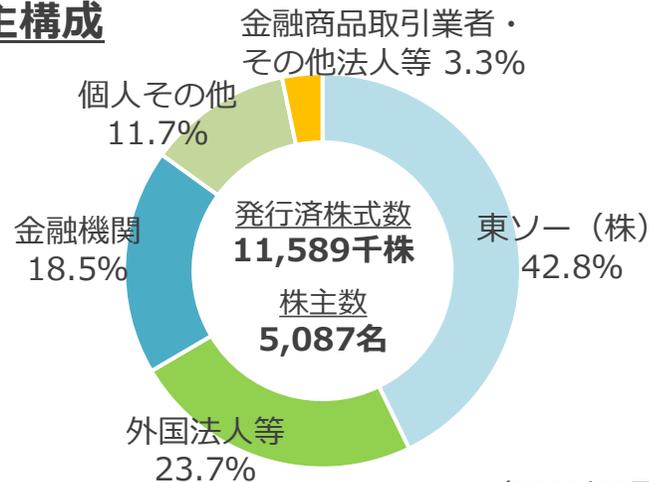
## ■ 会社概要

社名	オルガノ株式会社
本社所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
設立	1946年5月1日
資本金	8,225 百万円
従業員数	2,493名（連結）※2022年9月30日現在
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場



代表取締役社長 山田正幸

## ■ 株主構成



(2022年9月30日現在)

## 経営理念

オルガノは、水で培った先端技術を駆使して未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献するパートナー企業としてあり続けます

# オルガノの事業構成

## 水処理エンジニアリング事業

### | プラント事業



純水・超純水設備  
排水処理・回収設備  
有価物回収設備  
プロセス関連設備

### | ソリューション事業



設備メンテナンス  
運転管理・包括契約  
設備増強・改造工事  
水処理加工受託

### | 事業別売上高

456億円  
(49%)

470億円  
(51%)

【ソリューション事業】

【プラント事業】

### | 顧客分野別売上高

582億円  
(63%)

229億円  
(25%)

114億円  
(12%)

【電子産業】

【一般産業】 【社会インフラ】

## 機能商品事業

### | 水処理薬品事業



排水・冷却水・洗浄・  
RO膜・ボイラ等処理剤

### | 標準型水処理機器・フィルタ事業



純水・超純水装置  
浄水フィルタ

### | 食品事業



食品添加剤・加工剤  
食品素材

### | 事業別売上高

77億円  
(40%)

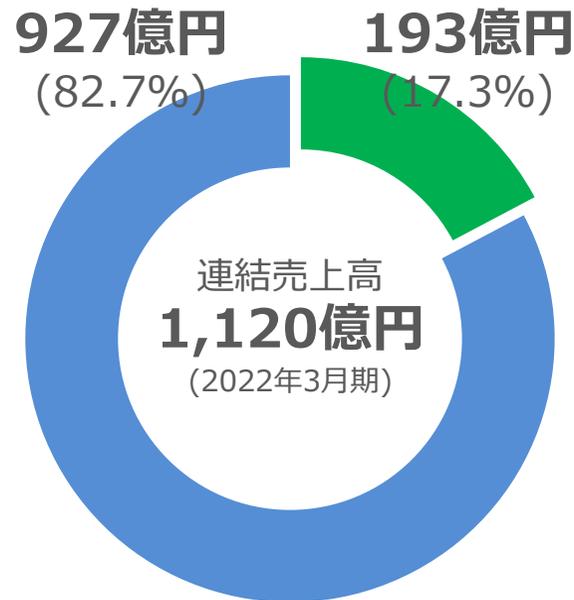
67億円  
(35%)

49億円  
(25%)

【水処理薬品】

【標準機器・  
フィルタ】

【食品】



※金額は22.3期売上高、%は売上構成比率

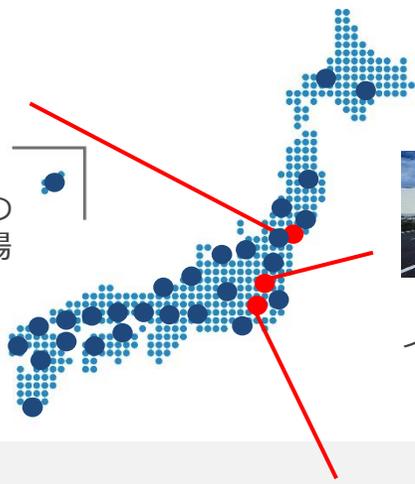
# オルガノのネットワーク

## 国内拠点・ネットワーク

### いわき工場



大型水処理設備の  
ユニット組立工場



### つくば工場



世界最大級の  
イオン交換樹脂  
精製工場

**国内営業・サービス拠点**    **開発センター(相模原市)**



全国に営業・サービス  
ネットワークを展開

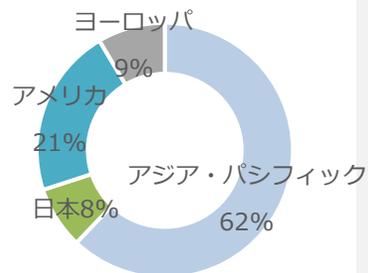


最先端の水処理・分離精製  
技術の研究開発を推進

## グローバル・ネットワーク



地域別半導体生産シェア  
(2021年 WSTS調べ)



### アメリカに現法設立(21年9月)

これまで日本・中国・台湾や  
マレーシアなど電子産業分野  
の集積地を中心に進出

顧客工場の進出に合わせて  
2021年9月に米国現法設立、  
アリゾナに拠点を設置

# オルガノの歩み

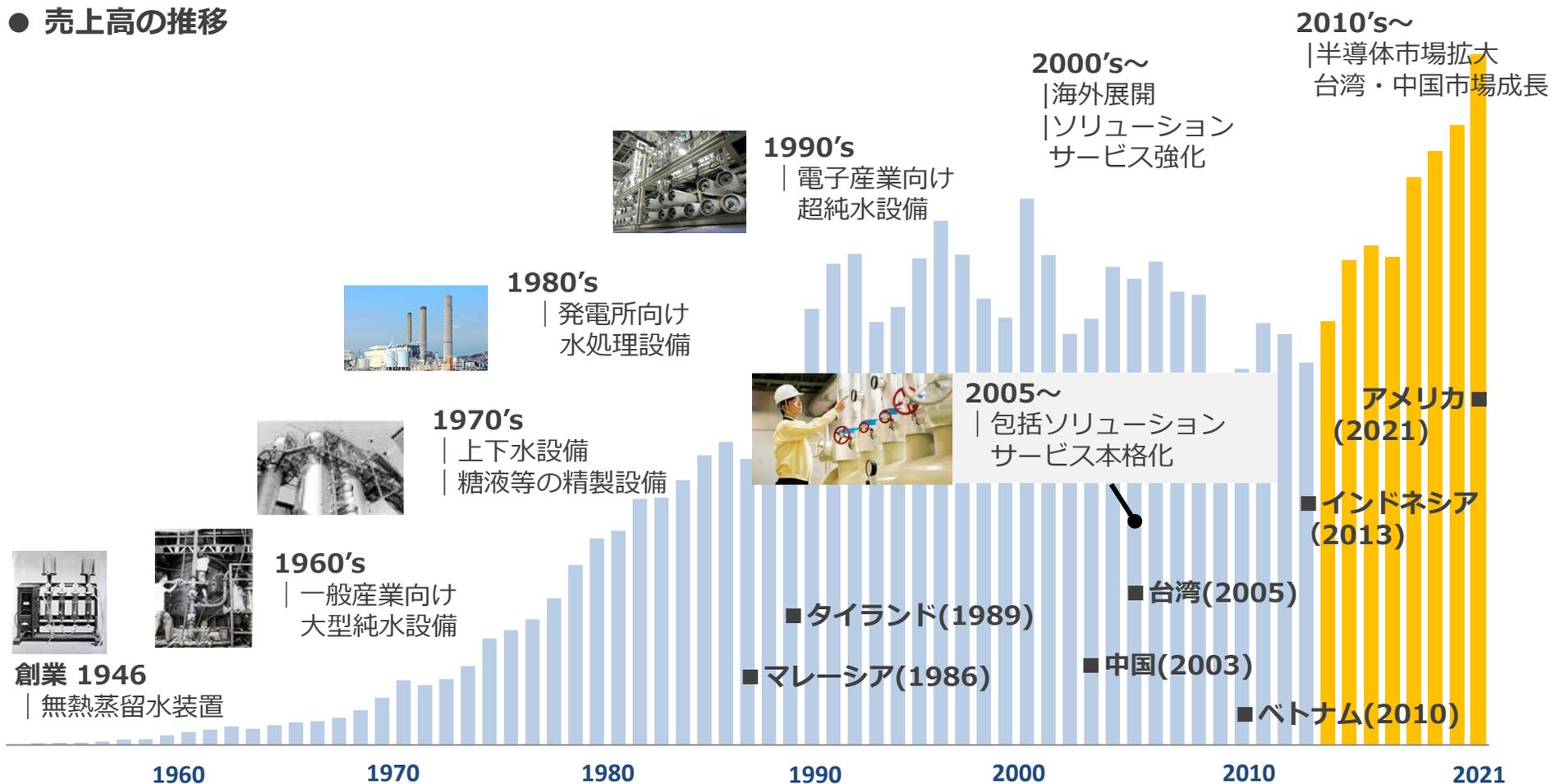
創業期

成長期

成熟期

飛躍期

## ● 売上高の推移



# お問い合わせ先

**経営統括本部 経営企画部**

**TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240**

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。